

発言者	内容
司会（会長）	社会科地理の教科用図書について審議する。 東京書籍についていかがか。
委員	各ページに二次元コードがわかりやすく配置されている。 写真やグラフ等の資料が充実している。 デジタルコンテンツも充実している。
委員	資料について充実している。 防災の記述において、阪神・淡路大震災に係る記載が少なく、兵庫県の記述がやや物足りない。
委員	なじみのある教科書、標準的である。
司会（会長）	近畿地方について見たが、もう少し工夫がほしい。 防災の記述では、阪神淡路大震災についての記載が少ない。
委員	全体的に工夫がやや少ない。 特に、学習指導要領の教科目標である「見方・考え方を働かせる」「課題を主体的に追求、解決しようとする」は社会にとって、重要である。 その点では、やや工夫が少ない。
司会（会長）	教育出版についていかがか。
委員	漢字のふりがなが多いことによって、様々な生徒にやさしいのではないか。 見開き2ページでグラフが掲載されるなどのレイアウトに工夫がみられる。 SDGsについて一貫して意識されている。 デジタルコンテンツについては、協働的な学びについての工夫がやや少ない。
委員	雨温図が並んで掲載されていない。地域の特徴を知るうえで、比較は必要である。地理に関していえば、地図帳と分けて考える必要がある。
委員	雨温図が並んでいる方が、生徒が比較できるので、良いのではないか。
司会（会長）	教育出版のバランスは良い。
司会（会長）	帝国書院についていかがか。
委員	主体的・対話的で深い学びに繋いでいきやすいので良いのではないか。 防災学習が充実してある。特に、イラストマップから危険性を考える等の工夫がみられる。

委員	領土のところで、歴史的なところをポイントにしている部分が多かった。生徒が興味関心を持てる教科書ではないか。 雨温図などが並べて表記されており、比較しやすい。
委員	調査報告書を見ると学びやすい教科書ではないか。 その点では、写真やグラフが見やすくレイアウトされている。
司会（会長）	近畿地方は琵琶湖から始まる面白い切り口である。西アジアでは、女性の社会進出が記述されるなど、最新の情報が多く掲載されている。
司会（会長）	日本文教出版についていかがか。
委員	見開き 2 ページで学習課題が示されており、生徒が課題を意識しやすい。 ムービーはまとまっており、非常に良かった。 各単元末に「まとめと振り返り」のページが設けられている。
委員	二次元コードが教科書の定位置にあり、学習のまとめを意識している。歴史的な変化も掲載されている。
委員	二次元コードはよく使うのか。
委員	電子黒板で掲示したり、テスト前に確認したりするのに使う。生徒が日々、使うとなると難しいのではないか。 外部リンクについては、意見が分かれる。
司会（会長）	領土問題の扱いのバランスがよい。 近畿地方については、京阪神を中心に上げている。西アジアの女性についての取り上げ方がよい。 協働的な学びに繋がる場面設定が、やや少ない。
司会（会長）	総括をする。 以上のことから、帝国書院を 1 番に、日本文教出版を 2 番に推薦する。